



地域の皆さまへ

千代田で育てよう・千代田を育てよう
(仮称)「あいさつ通り」構想

千代田中学校区教育懇談会会長 森脇邦夫(楠小校長)

日頃は、千代田中学校区の子どもたちに温かいご支援をたまわりましてありがとうございます。おかげをもちまして学校は、無事に1学期を終了し、夏休みを迎えることができました。

さて、千代田中学校区教育懇談会では、河内長野市教育立市宣言を受けまして、学校(教育の立場)・家庭(子育ての立場)・地域(まちづくりの立場)が、お互いにつながり連携し、地域の宝である子どもたちを健やかに育てていきたいという願いを含め、また、まちづくりの観点で、仮称ですが、「あいさつ通り」構想をつくりました。

具体的な活動として、現在、校区の真ん中をほぼ東西にはしる市道貴望ヶ丘病院住宅線に愛称をつけて、ひとつのシンボルとして地域のみなさんに親しんで使ってもらおうと考えています。また、もう一つのシンボルとして、地域が教育・子育て・まちづくりでひとつになって頑張っていることを示すモニュメントも製作・設置したいと考えています。

しかし、通いなれた道に愛称をつけたり、モニュメントを設置したりすることは、構想の第一段階に過ぎません。大切なことは、千代田に暮らし、千代田で学ぶ地域の皆さんが、あいさつを中心に、互いに声をかけあって人と人とのつながりをより強いものにすることだと思います。そんな地域の人たちの輪の真ん中に、ぜひとも千代田中学校区にある学校園に通う園児・児童・生徒・学生を置いていただけたらなと考えています。

やがて子どもたちは成長し、千代田を支える大人になります。なかには千代田以外の地域社会で新しい生活を営む人もいるでしょう。将来、千代田で育て千代田で学んだ子どもたちがどこで暮らすとしても、千代田で大切にされた子どもたちは、きっとその地域で、子どもたちや地域を大切にできる大人になってくれることと思います。

千代田中学校区教育懇談会では、そんな願いを含めてこの構想を進めていきたいと考えています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。